

図画工作科 学習指導案

指導者 平山 和弘

1 学年 第4学年1組 男子15名 女子26名 計41名

2 題材名 「四つの顔を持つお面」 A表現(2)

3 題材について

(児童の実態)

- ・アンケート調査の結果、約9割の児童が「図画工作科の授業が好きである」と答えており、ほとんどの児童が作品づくりに夢中になって取り組んでいる。しかし、新しい材料や用具の扱い、自分の作品の発想や構想に、時間のかかる児童も数名いる。
- ・友人の作品のよさを見付けて交流したり、自分の意見や感想を発表したりする活動には消極的である。

魅力ある題材

(題材について)

- ・お面をつくったりかぶったりする魅力は、変身願望を満たしてくれる。ここでは、紙を二つ折りにして形を切り、その形の左右対称の特徴を生かす、上下逆さまにして見る、裏返して見るなどの試行を加え、発想を広げながらお面をつくることができる。
- ・教師がサンプルをつくり、4種類の顔が1つのお面に含まれているという楽しさと不思議さを実感させることができる。また、実際にお面に触れることで紙のいろいろな操作方法を考えることが容易となる。

認め合い 学び合い

(指導に当たって)

- ・4種類の顔が1つのお面に含まれる楽しさと不思議さが本題材のポイントである。「その不思議なお面の作り方は、・・・」と、材料や方法に関心を高めて、導入で引き付けていきたい。
- ・発想や構想に時間のかかる児童には、多様な材料や簡単なサンプルを用意し、仕掛けを理解できるように支援する。
- ・毎時間、自他の作品のよさを交流する時間を設定する。

表したいことに合わせて、自分なりの技能や表し方を工夫できる子

つくりだす喜び ひびき合う楽しさ

4 題材の目標

造形への 関心・意欲・態度	自分でつくったお面をかぶり、変身することを楽しもうとする。
発想や構想の能力	鏡を見たり、意見を聞いたりして発想を広げ、新しい考えを付け加えながら つくるができる。
創造的な技能	紙のいろいろな操作方法(丸める、切り刻む等)を生かしたり、ほかの材料 を選んだりしてつくるができる。
鑑賞の能力	いろいろな工夫を話し合っ、お面の面白さに気付くことができる。

5 題材の評価規準

ア 関心・意欲・態度	イ 発想や構想の能力	ウ 創造的な技能	エ 鑑賞の能力
お面をつくったり、かぶって変身したりすることを楽しもうとする。	お面の試着とお面へのつけ加えをしながら、友人とのかかわりの中で発想を広げている。	紙の操作方法や色、材質の違いを考えて材料を選び、お面づくりに生かしてつくっている。	お面をかぶって友人と見せ合い、お互いの工夫に気付きながら楽しんでいる。

6 指導と評価の計画（全6時間）

次	学 習 内 容（時数）	評 価					
		関	発	創	鑑	評価規準	評価方法
第一 次	1 上質紙を二つ折りにして切り、広げた時の形を見て、お面の形を楽しむ。 (2)					関) はさみの使い方に関心を高め、二つ折りにした紙を切って形をつくることを楽しもうとする。	行動観察 ワークシート
第二 次	2 両面色違いの造形紙を使い、同じ方法でお面の基になる形をつくる。(1)					発) 試しにつくったことや色の違いを生かして、つくりたい形を発想している。	行動観察 ワークシート
	3 形を逆さにしたり、裏返したりするなどいろいろな方向から発想を広げ、材料などを工夫してつくる。 (2) 本時1/2					発) 試しにつくったことや色の違いを生かして、つくりたい形を発想している。 創) 形や色の組合せを工夫したり、材料のよさを生かしたりして、自分のイメージに合った表し方を考えてつくり出している。	行動観察 ワークシート 行動観察 ワークシート
第三 次	4 お面をかぶって遊んだり、作品を発表したりして、互いのよさを感じ取る。 (1)					鑑) 顔にかぶって楽しみながら、互いの作品のよさなどを見付け合っている。	行動観察 児童作品ワークシート

7 本時の目標

形を逆さにしたり，裏返しにしたりするなどいろいろな方向から発想を広げ，材料などを工夫してつくりることができる。
 <表現(2)イ・ウ>

8 本時の展開 指導すべき点(しっかり) 思考力(じっくり) 発信力(はっきり)

学習活動	指導上の留意点	評価規準(評価方法)
<p>1 本時の学習内容の確認 前時までの学習内容を想起する。</p> <p>本時のめあてを確認し，見通しをもつ。</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> お面をいろいろな方向から見て，形，色，材料を工夫してつくりよう。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・前時につくったお面の形を紹介させ，本時の学習意欲を高める。 ・一人ずつの作品の記録を準備しておき，変化が分かるようにする。 ・サンプルを見せ，完成作品をイメージさせることで見通しをもたせる。 	<p>〔共通事項〕 形や色，組合せなどの視点に注目させる。</p>
<p>2 つくり出す活動 形を逆さにしたり，裏返しにしたりしながら，発想を広げる。</p> <p>紙のいろいろな操作方法を工夫してつくる。</p> <p>普段集めている材料などからも，使ってみたいもの，効果的なものを選んで使う。</p>	<p>逆さにしたり，裏返しにしたりして生まれるイメージの違いを自分なりに感じ取らせながら新たに発想を広げさせる。紙の形や色の組み合わせ方，紙のいろいろな操作の仕方，ほかの材料などの生かし方を追求させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな大きさの両面色違い造形紙，毛糸，セロファンなどを用意しておく。 ・グループにすることによって，友人同士の情報交換や相互評価が活発に行われるようにする。 ・友人のアイデアを参考にして，さらにイメージをふくらませるようにする。 ・一人一人の様子や作品を評価すると同時に，相互作用の中身を大切に見取るようにする。 <p>材料を工夫するとき，自分や友人の切り落とした紙も効果的に使うように支援する。</p>	<p><発想や構想の能力> 試しにつくったことや色の違いを生かして，つくりたい形を発想している。 (行動観察，ワークシート)</p> <p><創造的な技能> 形や色の組合せを工夫し，材料のよさを生かして，自分のイメージに合った表し方を考えてつくり出している。 (行動観察，ワークシート)</p>
<p>3 認め合いと学び合い 自分や友人の作品を見て，工夫したことやがんばったことを発表する。</p>	<p>机間指導を行い，作品のよさや工夫を認め，自信をもつて発表できるように意欲を高めておく。</p>	
<p>4 本時のまとめ 学習を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習の中で，机間指導での気づきや発表の中から工夫やよさについてまとめ，次時の活動への意欲をもたせる。 	